

勸化本書誌解題(五)

——実践女子大学山岸文庫蔵——

土屋 順子

はじめに

実践女子大学図書館山岸文庫の所蔵する勸化本十作について報告する。表題の「勸化本書誌解題(五)」とは、凡例に記した拙稿に続くの謂である。

凡例

- 一 書名は『国書総目録』に準じた。
 - 一 書名の下に、() を用いて、山岸文庫登録番号を記した。
 - 一 原則として初版本の刊行順に配列した。
 - 一 同一内容の本が二点以上ある場合は、便宜上「A」
-
- 一 「B」と区別した。
 - 一 表記は、原則として旧字は現在通行の漢字に改めた。
 - 一 ルビは原文に従って忠実に施した。
 - 一 欠落・虫損等で判読不可能の文字は「*」で補った。
 - 一 「構成」の項では各巻毎に合計丁数を示し、() 内に、各項目丁数、「」を用いて丁付を記した。丁の表で終っている場合は「表」と表記した。

一 「挿絵」は丁数および表裏を付記した。

一 「藏書印」は「山岸文庫」の印を省略した。捺印箇所は、丁付のある場合はその丁付を、無い場合は「初丁」「最終丁」という形で表記した。

一 「備考」に参考論文、翻刻を掲載した。

なお、「備考」に記した「解題(一)」とは、拙稿「勸化本書誌解題(一)」(『実践国文学』48号、平成7年10月)、「解題(三)」とは、同「勸化本書誌解題(三)」(『実践国文学』49号、平成8年3月)のことである。

勸化南針鈔 (二四九五)

書型 大本七卷合二冊。上巻に卷一から卷三、下巻に

卷四から卷七を収録。

表紙 後補改装縹色型押文様。縦二十五・六糎×横十

七・六糎。

題籤 剥落。左肩に墨書で「勸化南針鈔上(下)」とある。

序題 「勸化南針鈔 序」。

目録題 「勸化南針抄卷之一(七七) 標目」。

巻首題 「勸化南針抄卷之一(七七)」。

尾題 「勸化南針抄卷之一(七七) 畢」。

版心 「黒魚尾」 勸化南針抄卷一(七七)○(丁数)。

序文 「宝永龍集庚寅臘月既望／洛西前浄円教寺沙門

構成

盤察誌／印圖。

一之卷二十八丁半(序一丁半「一」「二」へ表、
標目一丁「ナシ」、本文二十六丁「一」「二」：
「廿六」)。

二之卷二十四丁(標目半丁「ナシ」、本文二十
三丁半「一」「二」：
「廿四」へ表)。

三之卷二十九丁(標目一丁「ナシ」、本文二十
八丁「一」「二」：
「廿八」)。

四之卷二十三丁(標目一丁「ナシ」、本文二十
二丁「一」「二」：
「廿二」)。

五之卷二十三丁半(標目一丁「ナシ」、本文二
十二丁半「一」「二」：
「廿三」へ表)。

六之卷十九丁半(標目半丁「ナシ」へ表、本文
十九丁「一」「二」：
「十九」)。

七之卷二十二丁(標目一丁「ナシ」、本文二十
一丁「一」「二」：
「廿一」)。

四周単辺。縦二十一・三糎×横十六・〇糎。
序七行、本文十行。

用字 漢文。

本文 漢字交じり片仮名、ルビあり。

挿絵 無し。

作者 「洛西前浄円教寺沙門盤察編輯」(各巻巻首題
下)。

刊記 「宝永第八稔／正月穀旦／錢屋庄兵衛／錢屋嘉

備考

兵衛／同繡」(卷之七最終丁)。
龍谷大学図書館蔵本、大妻女子大学附属図書館蔵本、中村幸彦氏所蔵本(国文学研究資料館マ
イクロフィルム)と同版。

孝感冥祥録

(二二二五)

書型

大本二卷二冊。
縹色布目型押文様。縦二十六・三糎×横十八・
三糎。

上下巻それぞれに、「八二ノ一」「八二ノ二」
と貼紙がある。

題簽

後補書題簽。左肩「直」
「孝感冥祥録 卷上(下)」。

備考

上下巻初丁に「西照寺」の蔵書印。東洋大学哲
学堂文庫蔵本、大谷大学図書館蔵本、大正大学
図書館蔵本、大妻女子大学図書館蔵本、中村幸
彦氏所蔵本(国文学研究資料館マイクروفイル
ム)、高岡中央図書館蔵(同)と同版。

凡例題

「孝感冥祥録」。

巻首題

「孝感冥祥録卷上(下)」。

尾題

「孝感冥祥録卷上(下)終」。

版心

「冥祥録 上(下)〇(丁数)」。

序文

「享保十九龍集甲寅上元日／洛東獅子谷白蓮社
沙灘鶴宝洲和南 叙 印印」。

跋文

「享保十八念十一月十八日 西隠伝阿 欽誌」。

構成

上巻三十四丁(挿絵一丁「ナシ」、序二丁「一」
「二」、凡例二丁「一」「二」、本文二十九丁「三」
「四」…「三十一」)。

「三十一」。

本文匡郭
一面向数
用字

下巻二十六丁半(本文二十五丁「一」「二」：
「二十五」、跋一丁「二十六」、刊記半丁「二十
七」へ表)。
四周単辺。縦二十・一糎×横十四・五糎。
序九行、凡例十一行、本文十一行、跋七行。
漢文。

凡例 漢字交じり平仮名、ルビあり。

本文 漢字交じり平仮名、ルビあり。

跋 漢字交じり平仮名、ルビ無し。

上巻 半丁 二面(「ナシ」へ表)・(裏)。

欣誉厭求 筆記、西隠伝阿 訂正。

「享保十九稔甲寅孟春良辰／知恩院石橋書肆沢
田吉左衛門 寿粹」(二十七丁へ表)。

横山邦治氏『読本の研究』(風間書房、昭和49
年4月)。後小路薫氏『近世勸化本の極楽譚―
善之丞の地獄極楽巡りの背景』(『解釈と鑑賞』
昭和55年8月)。

堤邦彦氏『近世仏教説話の研究』(翰林書房、
平成8年7月)。

現証往生伝 (二〇八八)

書型 大本三卷三冊。

表紙 縹色無地。縦二十七・六糎×横十八・五糎。

題簽 单杵左肩【新】現証往生伝上(中・下)。

縦十七・七糎×横三・二糎。

序題 「現証往生伝序」。

目錄題 「現証往生伝卷上(下) 目錄」。

卷首題 「現証往生伝卷上(下)」。

尾題 「現証往生伝卷上(下) 尾」。但し「卷中(下)終」。

「現証往生伝上(下)〇(丁数)」。

版心 「現証往生伝上(下)〇(丁数)」。
序文 「元文四年歲次己未孟春十日／洛東獅谷白蓮社
主慧闍謹書／印印」。

構成 上卷二十四丁(序二丁「一」「二」、目錄一丁
「三」、本文二十一丁「一」「二」：「廿一」)。

中卷二十五丁半(目錄一丁「一」、本文二十四
丁半「二」「三」：「二十六」〈表〉)。

下卷二十五丁半(目錄一丁「一」、本文二十四
丁半「二」「三」：「二十六」〈表〉)。

丁半「二」「三」：「二十六」〈表〉)。

本文匡郭 四周单辺。縦二十一・一糎×横十五・六糎。

一面行数 序十行、本文十三行。

用字 漢文。

本文 漢字交じり片仮名、ルビあり。

挿繪 無し。

雲靈桂鳳。

刊記 「元文五歲庚申九月吉辰／洛東知恩院門前／沢
田吉左衛門寿粹」(下卷二十六才)。

備考 該本と大谷大学図書館蔵本は、上巻が本文二十
一丁で「僧上人之部」十二人、中巻が本文二十
四丁半で「法師之部」十四人、「尼衆之部」十
六人、下巻二十四丁半で「信士之部」十五人、

「信女之部」十四人、「童女之部」二人の往生
伝を収録するのだが、大正大学附属図書館蔵本
は、各巻巻末を埋木によって改め、新たな丁を
挿入し、そこに各々一名追加している。上巻「僧
上人之部」十三人(一人増)、中巻「法師之部」
十四人、「尼衆之部」十七人(一人増)、下巻
「信士之部」十五人、「信女之部」十五人(一
人増)、「童女之部」二人に変更されている。

長谷川匡俊氏『「現証往生伝」について』(『日
本仏教』三十九号、昭和51年12月)。

※「解題(二)」参照。

随求菩薩感応伝 (二二六七)

書型

大本三卷三冊。

表紙

縹色無地。縦二十五・九糎×横十八・三糎。剥落。卷之一にのみ、墨書で「随求弁感心伝」とある。

挿絵

本文 漢字交じり片仮名、ルビあり。
無し。

序題

「随求菩薩感心伝序」。

刊記

「寛保三年亥十一月／大坂高麗橋一丁目／藤屋弥兵衛板行」(卷之三「四十」へ裏)。

目録題

「随求菩薩感心伝卷之一(一〇三)目録」。

備考

大谷大学図書館蔵本・東洋大学図書館哲学堂文庫蔵本と同版であるが、蔵版目録二丁は該本と別種。

卷首題

「随求菩薩感心伝卷之一(一〇三)終」。

※「解題(二)」参照。

尾題

「黒魚尾」随求感心伝一(一〇三)〇(丁数)。

序文

「維時元文ノ第五星庚申ニ集ル七月ノ僧自恣日金剛乘通受菩薩大戒煇芻ノ超海性和泉州安楽密律寺ニシテ書スノ印印」。

迎接記文針芥鈔

(二五六六)

構成

一之卷三十五丁半(序一丁半「一」「二」へ表、目録一丁「三」、本文三十三丁「四」「五」：「卅六」)。

書型

二之卷三十丁(目録一丁「一」、本文二十九丁「二」「三」：「三十」)。

表紙

三之卷四十二丁(目録一丁「一」「二」、本文三十七丁半「三」「四」：「四十」へ表、刊記「四十」へ裏、蔵版目録一丁「ナシ」「ナシ」)。

書型

大本七卷八冊。

本文匡郭

四周单边。縦十九・二糎×横十五・六糎。

表紙

子持梓左肩「蓮生迎接記文針芥鈔一(一〇六、七上、七下)」。縦十八・六糎×横三・三糎。

一面行数

四周单边。縦十九・二糎×横十五・六糎。

序題

「迎接記文針芥鈔序」。

用字

序七行、本文十一行。
漢字交じり片仮名、ルビあり。

卷首題

「迎接記文針芥鈔一(一〇七、七下)」。

尾題

「白魚尾」迎接記文針芥鈔卷之一(一〇七、七下)(丁数)。

心題

「迎接記文針芥鈔卷之一(一〇七、七下)」。

序文
構成

五之卷九〜二十二丁目、六之卷一〜二十丁目は黒魚尾。

「皆寛延聖曆舎_ル庚午ニ暮春三月穀旦河陽市泉散納羅溪亦式投_ニ毫於幻殼庵ニ自題_テ為_レ序ト」。

一之卷二十二丁半(序二丁「一」「二」)、凡例五丁半「一」「二」:「六」〈表〉、総目録二丁半「六」〈裏〉「七目ノ」「八目ノ」、本文十二丁半「一」「二」:「五ノ六」「七」:「十三」「ナシ」(裏見返)。

二之卷十九丁(本文十九丁「一」「二」:「十九終」)。
三之卷十七丁半(本文十七丁半「一」「二」:「十七」「ナシ」(裏見返))。
四之卷二十一丁(本文丁「一」「二」:「二十一」)。

五之卷二十四丁(本文二十四丁「一」「二」:「二十四」)。
六之卷二十二丁半(本文二十二丁半「一」「二」:「二十三終」〈表〉)。
七上之卷二十二丁(本文二十二丁「一」「二」:「二十二終」)。

七下之卷三十一丁(本文三十丁半「一」「二」:「三十一終」〈表〉、刊記半丁「三十一終」〈裏〉)。

本文匡郭 四周単辺。縦二十・一糎×横十四・五糎。一面行数 序十一行、本文十一行。

用字 漢文。本文 漢字交じり片仮名、ルビあり。

挿絵 無し。
作者 「河陽古市西念寺吟詠亦式纂述」(各巻巻首題下)。
刊記 「寛延三年庚午秋七月ノ京師書肆 堀河仏光寺下町 藤沢三郎兵衛ノ浪華書肆 心齋橋筋淡路町 安井嘉兵衛梓」(七下之卷三十一〈裏〉)。

備考 龍谷大学図書館蔵本、大妻女子大学図書館蔵本、中村幸彦氏蔵本(国文学研究資料館マイクロフィルム)、架蔵本と同版。
※「解題(二三)」参照。

西院河原口号伝 (二二〇五)

書型 大本五卷五冊。

表紙 縹色布目型押文様。縦二十五・八糎×横十七・五糎。

題簽 子持梓左肩「勅西院河原口号伝一(〜五)」。

序題① 「西院河原口号伝 序」。

目録題 「西院河原口号伝 物目録」。

巻首題 「西院河原口号伝卷一(〜五)」。

尾題 「西院河原口号伝卷一(五)」。卷之五のみ、

「終」と付く。

版心 「西院河原口号伝 一(五)(丁数)」。

序文① 「宝曆八戌寅年中夏下旬」。

序文② 「宝曆七丁丑天季冬下旬／野釈章瑞謹誌」。

構成 一之卷十五丁(序①一丁「一」、序②一丁「二」、
惣目録二丁「一」「二」、本文十二丁「一」「二」
：「十一」)。

二之卷十六丁半(本文十六丁半「一」「二」：
「十七」〈表〉)。

三之卷十六丁半(本文十六丁半「一」「二」：
「十七」〈表〉)。

四之卷十五丁半(本文十五丁半「一」「二」：
「十六」〈表〉)。

五之卷十九丁(本文十八丁半「一」「二」：「十
九」〈表〉、刊記半丁「十九」〈裏〉)。

四周双辺。縦十九・四糧×横十四・八糧。

序①八行、序②八行、惣目録十行、本文十行。

序① 漢文。

序② 漢文。

本文 漢字交じり片仮名、ルビあり。

挿絵 無し。

作者 章瑞。

刊記 「宝曆十一歳／辛巳正月吉旦／皇都書林 錦小

蔵書印 備考

路通新町西入町 永田調兵衛梓(卷之五最終
丁)。

「兵庫県播磨国／美囊郡吉田村／浄善寺片山徳
夫」単郭朱印(各巻初丁右下)。

大谷大学図書館蔵本「A」、大妻女子大学附属
図書館蔵本、東海学園短期大学図書館蔵本(国
文学研究資料館マイクロフィルム)と同版。また、
八事文庫蔵本、中村幸彦氏蔵本(国文学研
究資料館マイクロフィルム)は、同版ながら、

刊記が「宝曆十一歳／辛巳正月吉旦／皇都書林」
までしかない。その後、寛政六年に菱屋が求版
した。大谷大学図書館蔵本「B」がそれで、「宝
曆十一歳辛巳正月吉旦／寛政六年歳甲寅九月吉
日求版／皇都書林／御幸町御池下ル／菱屋孫兵
衛板」の刊記を有する。また内容はそのまま、
寛政六年菱屋求版本の奥付から「寛政六年歳甲
寅九月吉日求版」だけを削除し、新たに刊記を
付した版(東京国立博物館蔵本は「文政元年戊
寅初冬」、早稲田大学蔵本は「弘化三年丙午初
夏」)もある。

翻刻 西田耕三氏『仏教説話集成』一(叢書江
戸文庫16、国書刊行会、平成2年9月)。底本
は大谷大学図書館蔵本。

堤邦彦氏「仏教長篇説話『西院河原口号伝』を

めぐって—宝曆期勸化本における怪異小説の接用」(『読本研究』第四輯上套、平成2年6月、同『近世仏教説話の研究』(翰林書房、平成8年7月)に再録)。

一勸化一瓠千金 (二二三八)

書型 大本三卷三冊。
紙 後補改装藍色無地。縦二十五・七糎×横十七・六糎。
題簽 剥落。左肩に「一瓠千金 上(中・下)」と朱書。
序題 「一瓠千金 自序」。
卷首題 「浄土一瓠千金卷上(中・下)」。
尾題 「浄土一瓠千金卷上(中)終」「浄土一瓠千金卷下大尾」。
版心 「一瓠千金卷上(中・下)〇(丁数)」。
序文 「明和三丙戌歲二月仏涅槃日/慈光蘭若 沙門 釈輪空円瑞快龍/敬識」(自序)。
構成 上之卷二十三丁半(序一丁「一」、本文二十二丁半「一」「二」:「二十三」(表))。
中之卷二十二丁半(本文丁「一」「二」:「廿三」(表))。

下之卷十七丁(本文丁「一」「二」:「十七」(表))、刊記半丁「十七」(裏)。

本文匡郭 四周单边。縦二十・二糎×横十四・九糎。

一行行数 序九行、本文十一行。

用字 漢字交じり片仮名、ルビあり。

本文 漢字交じり片仮名、ルビあり。

挿絵 無し。

作者 「河内州沙門輪空円瑞 述」(各卷卷首題下)。

刊記 「明和三丙戌春/皇都書林/六角堂寺町西入ル町 著屋儀兵衛/寺町四条上ル町 同 宗八/醒井 通高辻上ル町 日野屋源七/室町通高辻下ル町 本屋次兵衛」(巻下十七ウ)。

廣告 「実高長者(勸化名花苑近刻)」(巻下十七ウ)とある。

備考 「長谷靈驗(勸化名花苑)」(巻下十七ウ)とある。

大正大学図書館蔵本と同版。広告の『勸化名花苑』は、未見。実際に刊行されたのか否か、不明。

※「解題(一)」参照。

善光寺如来東漸録 (二二六二)

書型 大本五卷五冊。

表紙 縹色布目型押文様。縦二十五・六糎×横十七・九糎。

九糎。

放生功德集 A (二五九五)

書型 大本三卷三冊。

表紙 朽葉色布目型押文様。縦二十六・〇糎×横十八

・〇糎。

題簽 子持粹左肩「放生功德集 上(中・下)」。

但し、上巻は上部半分が剥落。

縦十八・二糎×横二・五糎(中巻)。

見返し 三分割して、右側に「淡海六如釈慈周著」、中

央に「放生功德集」、左側に「東都書肆 青黎

閣/書肆印「青黎閣*本記」。

右上部に魁星印がある。

序題 「放生功德集序」。

目録題 「放生功德集卷之上(〜下) 目録」。

巻首題 「放生功德集卷上(〜下)」。

尾題 「放生功德集卷上(〜下) 終」。

版心 「放生功德集「黒魚尾」巻之上(〜下)(丁数)」。

序文 「天明改元太歳辛丑秋八月/淡海六如釈慈周撰

／印匣」。

構成 上之巻五十一丁(序四丁「一」「二」…「四」、

目録二丁「一」「二」、本文四十五丁「一」「二」

…「四十五」)。

中之巻四十四丁(目録四丁「一」「二」…「四」、
本文四十丁「一」「二」…「四十終」)。

下之巻五十五丁半(目録四丁「一」「二」…「四」、
本文四十八丁半「一」「二」…「四十八終」〈表〉、
刊記(裏見返))。

四周双辺。縦十九・八糎×横十三・三糎。

序十一行、本文十一行。

一面行数 序 漢文、ルビ無し。

本文 漢字交じり片仮名 ルビあり。

無し。

挿絵者 「淡海六如釈慈周 編録」(各巻巻首題下)。

刊記 「天明三年癸卯孟春/發行所(四名の上)/京

都寺町蛸薬師下ル町 秋田屋平左衛門/京都寺

町三条下ル町 柏屋喜兵衛/大坂心斎橋筋順慶

町 柏原屋与左衛門/江戸浅草茅町二丁目 須

原屋伊八(下之巻裏見返)。

下之巻末に「東叡凌雲教院蔵版」と刻す。

大谷大学図書館蔵本も該本同様、見返しがあり、

魁星印・書肆の印を付す。大正大学附属図書館

蔵本は見返しは無く、巻末に「青黎閣当兌目録

/江戸東叡山池之端仲町須原屋伊八版」を付す。

※「解題(二)」参照。

放生功德集 B (二五九六)

書型 大本三卷二冊。下巻欠。
表紙 朽葉色布目型押文様。縦二十七・三糎×横十八糎。

題簽 剥落。墨書で「放生功德集 上(中)」とある。
見返し 三分割して、右側に「淡海六如釈慈周著」、中央に「放生功德集」、左側に「東都書肆 青藜閣/書肆印「靱麓書房」」。

序題 「放生功德集序」。
目錄題 「放生功德集卷之上(中) 目錄」。

卷首題 「放生功德集卷上(中)」。
尾題 「放生功德集卷上(中) 終」。

版心 「放生功德集「黒魚尾」卷之上(中)(丁数)」。
序文 「天明改元太歳辛丑秋八月/淡海六如釈慈周撰/印印」。

構成 上之卷五十一丁(序四丁「一」「二」::「四」、
目錄二丁「一」「二」、本文四十五丁「一」「二」::「四十五」)。
中之卷四十四丁(目錄四丁「一」「二」::「四」、
本文四十丁「一」「二」::「四十終」)。

本文匡郭 四周双辺。縦二十・〇糎×横十三・三糎。
一面向数 序十一行、本文十一行。

用字 序 漢文、ルビ無し。

挿繪 無し。
作者 「淡海六如釈慈周 編録」(各巻巻首題下)。
刊記 下巻欠のため、不明。
備考 山岸文庫蔵本「A」と同様、見返しがあり、書肆の印を付す。但し「A」とは、別種の印。

※「解題(二)」参照。

〈付記〉資料の閲覧を許可くださいました各図書館に感謝申し上げます。